

ご自由にお持ち帰り下さい



地域包括ケアシステム1

回復期病棟で行う園芸活動・リハビリテーション2

顔写真のプレゼント3

看護小規模多機能ホームの職員体制の変更3

医師エッセイ・私は食べるために生きている。4

Medical Healthy Recipe・縁起もののおせち料理 ～伊達巻き～ ..4

こころのサプリメント・人生のマスターキーを持つ方との出会い ..5

チャプレン室公式 LINE はじめました。.....5

若松苑デイサービス公式 LINE はじめました。.....6

「北中城若松病院療養者の権利」について6





地域包括ケアシステム

アガペ会理事長 涌波 淳子

新年あけましておめでとうございます。2023年を神様のお守りうちに、皆さまとともに迎えられたことを心から感謝いたします。

新型コロナウイルス感染症との戦いも「with コロナ（コロナと共存）」政策へと転換が始まっていますが、医療介護の現場では、常にクラスターと紙一重で、まだまだ緊張感が続いています。療養者の皆様もなかなかご家族との面会ができず、本当に申し訳なかったと思います。一方で、感染対策を契機に「地域包括システム」における医療介護連携の大切さがじわじわと浸透してきていることや一気にITの活用が進み、離島を含め日本全体、時には海外とも対面で面会や会議をすることができるようになったり、自宅でも講演会に参加できたり、情報の共有化ができるようになった事は、メリットの一つに挙げられるでしょう。

さて、「地域包括ケアシステム」とは、第二次世界大戦直後の1947年から49年に生まれたいわゆる団塊の世代の方々が75歳を超え後期高齢者となる2025年を目途に、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」が切れ目なく一体的に提供される体制の事を言います。アガペ会でも小規模多機能施設やグループホーム、通所系、訪問系事業所を立ち上げ、病棟も役割分担をし、老健も在宅復帰をめざすためにリハビリ機能の強化を行ってきました。そして、昨年7月には、「地域包括ケア病棟」を立ち上げ、在宅や施設で生活されている方々の肺炎や尿路感染症などの治療、急性期病院での治療が済んでも吸引や医療行為が必要なために直接自宅や施設に戻れない方々の医療の継続をしながら在宅復帰、施設復帰に向けて取り組んだりすることができるようになり、地域の方々の「かかりつけ病院」を目指していこうと思っています。

地域包括ケアシステムは、「どのような医療やケアを希望して、どこでどのように生活したいか」という「本人と家族の選択と心構え」が土台になっております。アガペ会では「もしもノート」を作成し、そのお手伝いも始めております。（もしもノートについては、若松だより127号をご参照ください）

2025年まであと2年。沖縄県では2040年まで高齢者数は増加すると想定されていますが、その時に私たちが「望んでいる地域包括ケアシステム」に近づいていくように、今年もアガペ会は皆さまとともに、一歩ずつ、「アガペ（神様の愛）に生かされ、アガペ（神様の愛）に生きる」を理念に、療養者・利用者そしてそのご家族の幸せ、職員と職員家族の幸せ、地域社会の幸せを目指して頑張っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

回復期病棟で行う 園芸活動・リハビリテーション



回復期リハビリ課 課長 稲垣 弘樹(理学療法士)

リハビリテーションの一貫で園芸に取り組むことは、1950年代のアメリカ合衆国・北欧から始まったといわれています。現在では日本でも多岐に広まり、身体機能・精神・認知機能回復のために機能訓練としても取り入れられています。

当院でも今年度から、入院されていた患者様が退院後屋外園芸(公園の清掃業)への復職を希望されたことをきっかけにリハビリテーションとして活動を実施してきました。

病棟の中庭で土・花・苗木に触れ、作業を繰り返すことで身体機能・生活動作の改善。机上では簡単な軽作業・周囲の片付け・自室管理など機能訓練とは別に取り組み、最終的には簡単な庭作業を見守り程度で可能な状況まで改善し、御自宅に退院されました。退院2週間後、お約束していた退院後の自宅訪問を行い状況を確認させていただきました。自宅では御家族と家事も協力して取り組み、今後は市町村の就労支援にも取り組むとのことで、退院後も活動を通して身体・認知機能を維持できている状況でありました。

現在も病棟内では入院前に取り組まれていた趣味・お仕事など、患者様自身が「好きなこと・やりたいこと」を活動として、中には90代後半の御高齢になっても自分のできる

範囲で意欲的に取り組まれている方もいらっしゃいます。

2022年10月からは、『季節を感じる事ができる庭づくり』をテーマに毎月取り組んでいます。10月はマリーゴールド、11月は百日草、12月は・・・と。楽しみにしながら、入院中の患者様が花を見るために足を運び、実際に土・植物に触れることで、心地よさ・リラックス・生きがい・運動・生活能力の維持向上を目的に行っています。

今後も回復期リハビリ病棟全体で取り組みを深めていきたいと思っています。



大好評

顔写真のプレゼント

第5病棟(特殊疾患病棟) 課長 平良 盛人(看護師)
病棟スタッフ一同

新型コロナウイルス感染拡大の影響下における”新しい行動様式”が始まってから、もうすぐ4年目に突入します。この間、私たち第5病棟でも感染予防対策上、毎年恒例の『家族会』や『クリスマス会』の開催中止を余儀なくさ

れました。会の中止をせざるを得ない状況の中で、開催実行係のスタッフは、他にできることはないかと検討し、希望されるご家族宛てに、療養者様の顔写真をプレゼントすることにしました。

病棟スタッフ一同、「どうにか良い表情をお届けしたい!」という気持ちで療養者様を撮影し、顔写真とともに一人一人へのささやかなメッセージも同封し、お送りしました。顔写真を受け取ったご家族には大変喜んでいただき、お電話や文書でお礼を伝えてくださる方々もいらっしゃいました。

コロナ禍でご家族も不自由な日常生活を強いられるなか、病棟スタッフへ思いを寄せてくださったんだと感ずることができると心温まる一幕でした。日々療養者様のケアにあたっている病棟スタッフにとって、励みになる出来事だったと思います。

以前のように面会ができるようになった際には、お互いに直接顔を見合わせ、お話ができればいいですね。

看護小規模多機能ホーム若松 きたなかぐすくの紹介

看護小規模多機能ホームの 職員体制の変更

宮城 和也(准看護師)

2022年8月、小規模多機能ホームから看護小規模多機能ホームへ登録変更して3年目を迎えました。今回は職員体制のご紹介と看護介護の役割を少しだけお話させていただきます。

何らかの疾病を持った高齢者の在宅療養を支え続けるには「通所」「泊り」「訪問介護」利用に加え「訪問看護」サービスが必須と考えられます。訪問看護サービスはこれまで看護師2.5名体制でおこなっていましたが、2022年度からは4名体制に増員し、医療処置や看取りケアをこれまで以上にサービス提供できる体制を整えました。

看護の施設や訪問での役割としては

- ① 医療的な処置や体温・血圧等の体調変化時の対応
- ② ご家族への医療的アドバイス
- ③ 主治医からの訪問看護指示書の遂行と経過報告書

などがあります。また、看取りケアではご家族、主治医、看護職員、介護職員がチームとなって利用者の命の終焉を迎えるに備え、尊厳をもって対応し最期を看取るという役割があります。

また、介護職員と共に利用者の送迎や在宅訪問を通して、ご家族側の視点をもって日常の交流やコミュニケーション、細かいケアのアドバイスなど行っています。

今後とも地域に愛され、
頼られる事業所を目指してまいります。

医局 涌波 優



ソクラテスの名言に「生きるために食べよ、食べるために生きるな」というものがあります。目的と手段を取り違えるなという意味なのですが、ソクラテスが生きていた時代を想像するに簡単には食事が手に入らなかったのでしょうか。「趣味は何ですか？」と聞かれて返事に困るくらい自分には趣味がないのですが、「人生の生きがいは？」と聞かれると自信をもって「おいしいものを食べることです」と私は答えます。飽食時代の現代では私と同じように食べるのを生きがいにしている人も一定数いるのではないかと思います。

医者になって食事ができなくなった人をよくみます。これまで何人も胃瘻を作ってきました。医師としては胃瘻に肯定も否定もありません。ソクラテス的には「生きるために食べよ（栄養せよ）」という意味では胃瘻は良さそうです、そこに「生きる意味」があるのであれば。さて、食べることを生きがいにしている私にとって自分自身が食べられなくなったら胃瘻はどうしたらよいのでしょうか。家族に相談して決めてもらうのも一つ手かもしれませんが、個人的には自分で決めたい事ですし……。皆さんはどうでしょうか。考えがあるのなら一度家族に自分の希望を話してみるのはいいことかもしれません。

Medical
Healthy
Recipe

縁起もののおせち料理 ～伊達巻き～

若松苑 栄養課
内領 みゆき (管理栄養士)

沖縄の家庭ではあまり馴染みが無かった縁起もののおせち料理ですが、最近ではお正月が近くなるとスーパーなどで陳列され、どれも食べてみたいと目を引きます。その一つに「伊達巻き」があります。主な材料として卵とはんぺんから作られる料理で、見た目の華やかさと書物のような巻物に似ている形から「知恵が増える事を願う」縁起ものといわれているそうです。鮮やかな色から、派手な卵焼きという意味で、おしゃれを意味する「伊達」を用いたという説もあるそうです。食べてみるとカステラ風味のお菓子の様な卵焼き、きつと虜になる方いるはずです。

今回はその「伊達巻き」レシピをご紹介します。市販品より上手く作れるかもしれません。



- 卵……………5個
- はんぺん…120g
- 砂糖……大さじ2
- みりん…大さじ1
- 酒……大さじ1
- 醤油……小さじ1

【作り方】

- ① 材料をすべてフードプロセッサーに入れて混ぜ合わせる。
- ② フライパンに油を引いて、ホットケーキを焼く用に丸く敷き詰めます。蓋をして弱火で約20分ほど焼きます。
- ③ 表面に火が通ったら取り出し、焼き色が着いた面を下にし、寿司用のすだれにのせ巻き、30分～1時間ほど輪ゴムで縛ってそのままの形でなじませます。冷めたら1cmほどに切り分け仕上げます。

人生のマスターキーを持つ方との出会い

チャプレン室 瑞慶山 真

マスターキーのことを、親鍵と呼ぶのだと最近になって知りました。同じ建物内ならどの扉も開け閉め出来るので親鍵、「なるほど」と納得しました。アパートや集合住宅でも同じで、親鍵を持つ者（主人）ならどの部屋にも入ることが出来ます。でも、オーナーだからと見境なしに自分の好き勝手に部屋に入り込んだりはしません。

イエス・キリストは、人が抱える課題や悩みの全てに対する答えを持つ方ですが、やみくもに人の心に入り込むことはなさいませんでした。悩みや悲しみが重く深いほど、イエス・キリストはご自分から近づいていきました。

聖書には「何をしてほしいのか」、「よくな

りたいのか」というイエス・キリストの問いかけが出てきます。一人で抱えきれない重荷も、自分から心を開きイエス・キリストに解決を求める人は、例外なしに信じた通りの出来事を体験するのです。

人生のマスターキーを持つ方は、私たちの弱さや痛みを知り、涙をすっきりぬぐい取ってくださる方です。そのイエス・キリストは「わたしは、戸の外に立ってたたか」と仰っているように、私たちが心の戸を開いて出迎えるのを待っておられるのです。



LINE@

チャプレン室
公式LINE
はじめました。

いつでも どこでも どなたでも



今週のひとことメッセージ・職員手帳に書かれた今週の聖書のことばから、短いメッセージ

アガペチャンネル……チャプレン室のトラクト（聞くトラクト版）ができました

祈りのリクエスト……チャプレンの日々の祈りの中でリクエスト頂いたことを祈ります
※個人情報にはじゅうぶん配慮を行っています。ご安心ください

SNS……アガペ会のHPに紹介されているこころのサプリ（ブログ）を紹介しています

あなたにおんがく……リラックスタイムのおとも、思わず口ずさみたくなる歌を紹介していきます

今日のハングル……韓国語に興味ありますか？分かりやすく覚えやすい内容を、一緒に楽しく覚えましょう



まずは、「お友だち登録」
からお願いします。

LINEアプリの
「お友だち追加」
→「QRコード」から
上のQRコードを読み取り
ご登録してください。

LINE@

若松苑デイサービス 公式LINE はじめました。

若松苑デイサービス公式LINEでは、
デイサービス利用者の作品、毎月発行の
月間わした新聞の配信を行っていきたい
と思います。

※個人情報にはじゅうぶん配慮を行っています。ご安心ください。

利用者作品



ご不明な点がございましたら若松苑事務所（098-935-5858）までお問い合わせ下さい。

月間わした新聞



まずは、「お友だち登録」
からお願いします。

LINEアプリの
「お友だち追加」
➔「QRコード」から
上のQRコードを読み取り
ご登録してください。

新型コロナウイルス感染対策の為、面会制限を行っております。
県内の感染状況により面会方法は異なるため、詳細はホームページでご確認下さい。

「北中城若松病院療養者の権利」について

- ①個人の人格を尊重した医療やケアが受けられます。
個人の人格、価値観などが尊重され、医療従事者との信頼と協力関係のもとで医療やケアを受けることができます。また、終末期ケアを受ける際もできる限り個人の尊厳が保たれ、あらゆる可能な助力を受けることができます。
 - ②必要な医療やケアを平等に受けられます。
社会的身分・人権・宗教などの差異、または障がいの有無に関わらず、必要な医療やケアを平等に受けることができます。
 - ③十分な情報を得ることができます。
ご自分が受けている医療やケアについて、理解できるまで説明を求めることができます。
またご自分の診療録の開示を求めることができます。
 - ④自己決定が尊重されます。
十分な説明と情報提供を受けた上で、自由な意思にもとづいた治療方法の選択、決定が尊重されます。
また自己決定の際に、主治医以外の意見（セカンドオピニオン）を求めることができます。
 - ⑤個人の情報は守られます。
診療に関する個人の情報は守られます。ご本人の承諾なくして、直接関わる医療従事者以外の第三者に対し開示されることはありません。
ただし法的義務のある場合や生命の危機に瀕する場合は、その限りではありません。
- ※なお療養者ご本人が、明確な意思表示をできない場合でお困りの際は、医療福祉相談課または病棟課長に遠慮なくご相談ください。



アガペ会理念

アガペ(神の愛)に生かされ、アガペ(神の愛)に生きる

わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい(聖書 ヨハネ福音書13章34節)

《理念の意味》アガペとは「神様の愛」というギリシャ語です。私たち職員は、神様と周囲の多くの方々
に愛されて生きてきた事感謝し、神様が愛されている目の前の療養者・利用者とそのご家族の皆さん
の幸せ、職員とその家族の幸せ、地域社会の方々の幸せを目指して医療とケアを提供していきます。

北中城若松病院

〒901-2395 沖縄県北中城村字大城 311
☎/098-935-2277 FAX/098-935-2272

- ・地域包括ケア病棟
- ・回復期リハビリ病棟
- ・認知症治療病棟
- ・特殊疾患病棟
- ・認知症デイケア あしやぎ
- ・認知症疾患医療センター ☎/098-975-6122

介護老人保健施設 若松苑

〒901-2314 沖縄県北中城村字大城 327
☎/098-935-5858 FAX/098-935-5807

- ・入所療養介護
- ・短期入所療養介護
- ・若松苑デイサービス
- ・若松苑訪問リハビリテーション

地域医療包括ケアセンター

複合型高齢者施設 ふれあいの里 若松

〒901-2311 沖縄県北中城村字喜舎場 360-1

3F サービス付高齢者住宅 アガペファミリー ☎/098-935-4165

2F グループホームわかまつ ☎/098-935-1021

1F ファミリークリニックきたなかぐすく
☎/098-935-5517 FAX/098-982-0708

通所リハビリテーションきたなかぐすく ☎/098-982-0717

訪問看護ステーション若松 ☎/098-935-5818

訪問リハビリテーションきたなかぐすく ☎/098-923-3154

B1F ヘルパーステーション若松 ☎/098-935-5202

ケアプランステーション ゆい
☎/098-935-3066・098-935-5968

地域医療包括ケアセンター事務所 ☎/098-935-3093
クリニック以外の事業所の FAX は 098-935-5855 (共通)

看護小規模多機能ホーム若松 きたなかぐすく

〒901-2316 沖縄県北中城村字安谷屋 1346 番地 1 (1F)
☎/098-982-0181 FAX/098-982-0183

グループホーム若松 ぎのわん
デイサービス若松 ぎのわん

〒901-2201 沖縄県宜野湾市新成 1-20-6
☎/098-892-5104 (グループホーム) FAX/098-892-5111
☎/098-892-5105 (デイサービス) (両施設共有)

小規模多機能ホーム若松ぎのわん

〒901-2206 沖縄県宜野湾市愛知 2-3-2
☎/098-892-1673 FAX/098-943-1085

宜野湾市地域包括支援センター ふてんま
新オレンジサポート室

〒901-2202 沖縄県宜野湾市普天間 1-9-3
☎/098-943-4165 FAX/098-943-4067 (ふてんま)
☎/098-943-4085 FAX/098-943-4702 (新オレンジサポート室)

宜野湾市赤道老人福祉センター

〒901-2205 沖縄県宜野湾市赤道 1-5-17 ☎/098-893-6400

宜野湾市伊利原老人福祉センター

〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐 4-3-17 ☎/098-890-7131

<https://www.agape-wakamatsu.or.jp>

※今号で使用している写真はご本人の同意を得て掲載しております

